

NEWS RELEASE

報道関係 各位

平成 29 年 9 月 12 日
株式会社ジャパンクリエイティブグループ

「技能実習法」施行まであと 2 か月 外国人介護人材を受け入れる事業者の負担を軽減！！

第 3 回徹底解説セミナーを開催しました

株式会社ジャパンクリエイティブグループのグループ会社である人材教育事業などを行う株式会社ジェイシーアジア（所在地：東京都中央区、代表：西川 和樹、以下ジェイシーアジア）は、9 月 6 日に株式会社日本経営（以下日本経営）と株式会社北海道銀行（以下北海道銀行）共同主催の「外国人介護人材を長期的に活用する日本語教育・組織のあり方徹底解説セミナー」に参加し、代表取締役の西川が講演を行いました。



北海道銀行 営業推進部 ヘルスケア推進室 室長 佐藤氏



ジェイシーアジア 西川社長と留学生

大阪、広島に続いて北海道での 3 回目の開催。今年 11 月 1 日の「外国人の技能実習の適正な実施及び、技能実習生の保護に関する法律」（以下技能実習法）施行に向けて日本経営と北海道銀行がセミナーを共同開催しました。

介護事業者に向けて外国人介護人材を受け入れる事業者が知っておかなければならない注意点や、外国人介護人材の長期的活用の安定化を目的とした日本語教育や組織のあり方について、各講師が講演をしました。

◎セミナープログラム

第 1 部 外国人技能実習制度について/樋口 公人

第 2 部 外国人介護人材の活用と事業の安定、健全化について/西川 和樹

第 3 部 外国人介護人材を上手に活用する組織体制/中川 稔大

・株式会社ジェイシーアジア 担当：谷

Tel : 03-3569-2202 Fax : 03-3569-2123 E-mail : tani-yo@jc-grp.com

・株式会社 ジャパンクリエイティブグループ 事業戦略本部 担当：山形

Tel : 03-3569-2003 Fax : 03-3569-2122 E-mail : yamagata@jc-grp.com

■第1部「外国人技能実習生制度について」



第1部では、公益社団法人国際人材革新機構（iforce）の樋口公人氏が、アジア諸国からの技能実習生受け入れの現状や、技能実習法に関して、現在、パブリックコメントで出されている資料をもとに、想定される介護職固有の実習実施者（受入施設等）の要件を説明しました。

これまでのアジア諸国からの技能実習生の活用を通して、一般的にアジア人は人懐っこさ、真面目さ、順応性が高く、その中でもベトナム人は一般的な基礎学力が高く親日国である点、また儒教文化の国でもあるため日

本企業への技能実習生としての受入には適している点等を説明いただきました。

さらに、外国人技能実習生を受入れる際に、実習実施者、実習生双方の文化風習の違いから何かと戸惑うことが多い点について実習実施者が留意すべきポイントを、樋口氏の長年の経験を踏まえて紹介しました。

公益社団法人国際人材革新機構/iforce 代表理事CEO 樋口 公人

MBA 経営学修士。2003年より国連ILOの支援の政府系団体にて政府ODAを中心とした人材開発による開発途上国の支援を行う。主に海外進出した民間大手日系自動車メーカーをはじめ、部品関連 中小メーカー、建築、建設、製菓、その他消費財、システム開発など各種企業の現場の管理監督者育成プランニング、HRMプランニングを担う。外国人の面接・ケアをした数は4000人を超え、海外40カ国以上に人的ネットワークを持つ。同団体の解散後の2011年3月、主に外国人教育・研修を専門とする、NPO法人アジア人材開発・雇用創出支援機構（HUDEC）を設立、同年11月には一般社団法人国際人材革新機構（iforce）を設立し、両代表理事CEOに就任。

■第2部「外国人介護人材の活用と事業の安定、健全化について」

第2部では、当グループのグループ会社である、株式会社ジェイシーアジアの代表取締役 西川和樹が、外国人が介護現場で就業できる方法として、①経済連携協定（EPA）、②介護福祉士の資格を取得した留学生、③外国人技能実習制度の3つがあり、介護施設のコスト負担やリスク、安定的な人材確保の面などから比較すると「③外国人技能実習制度」が最適な方法であることを説明しました。



今回の施行では、介護分野の技能実習生は、日本語が N4レベル[※]で来日が可能となります。

しかし、介護現場において N4 レベルの会話能力では実務上の能力不足は否めず、更には入国 1 年後に N3 レベル[※]を習得できなければ、帰国のリスクも生じます。介護現場において技能実習のみならず、日本語教育もしっかりと並行しなければならないことで、受入れ事業者にとって相当の負担が予想されます。西川からは、ジェイシーアジアの現地事前教育プログラムを活用いただき、入国時に N3 レベルまで引き上げる事で、外国人介護人材がより一層活躍できる場面を創出し、実習実施者である事業者のリスクをも低減する事が可能であることを解説しました。また、日本語学校に通っているベトナム人女子学生 2 名を招いて参加者との質疑応答コーナーを実施。実際の N3 レベルの日本語会話力が介護現場には必要であることも参加者に実感頂きました。

株式会社ジェイシーアジア 代表取締役 西川 和樹

ジャンクリエイトグループにて人材会社、英会話スクールの社長を歴任。その後、事業開発の責任者として外国人介護人材の育成に関わる。本年、発展的に株式会社ジェイシーアジアを設立。同社代表取締役に就任。

※N4レベル（基本的な日本語を理解できるレベル）

※N3レベル（日常的な場面で使われる日本語が理解できるレベル）

■第3部「外国人介護人材を上手に活用する組織体制」



第3部では、株式会社日本経営 中川稔大氏より先駆的に外国人人材を受け入れている法人の特徴と傾向、多様化する人材ニーズを受け止める人事マネジメントについて説明しました。

介護現場のキャリア形成の課題の一つとして、キャリア構造における専門性を高めることとすそ野を広げることがいかに実現するかが重要であり、その一端を担うのが外国人人材であると説明しました。

日本経営の調査によると、外国人の活用に成功している施設の共通点として、①地域に外国人コミュニティが存在し、②多様な文化を取り入れる風土があること、③業務習熟度に合わせた業務分担の仕組みがあることを指摘しました。また、外国人人材を確保し定着できている法人から学ぶ組織体制として、①多様化する人材の働き方を受け入れるキャリアパスがあること、②多様な人材を受け入る組織内ルールやマニュアルが整備されていること、③業務の効率化を都度検討し改善していることなどが共通していると解説しました。

株式会社日本経営 チームリーダー 中川 稔大

関西学院大学卒。介護・福祉分野への組織・人事制度改革を中心とした顧客へのコンサルティング支援を行っており、支援実績は50法人を超える。各種公的団体からの講演依頼も多く年間の講演回数は20件を超える。日本社会事業大学専門職大学院在学中。

■株式会社ジェイシーアジアについて

株式会社ジェイシーアジアでは、海外の医療系人材への質の高い教育を通じ、親切かつ適切なサービスを提供できる介護士の育成を行います。民間レベルでの国際人材教育・国際協力を通じ、アジア・ベトナムとの絆を一段と強固なものにしつつ、介護施設へのご入居様、ご家族様・スタッフの皆様にご喜んでいただける理想的な介護の実現、さらには日本の介護の未来を、より明るいものにしていきたいと考えています。

【会社概要】

社名 : 株式会社ジェイシーアジア
代表 : 代表取締役 西川 和樹
本社 : 東京都中央区銀座 8-8-1 第7セントラルビル
HP : <http://www.jc-asia.jp>
設立 : 平成29年4月
資本金 : 900万円
事業内容 : 海外進出支援、海外人材受入支援、教育事業、他

JC Asia
株式会社 ジェイシーアジア



■株式会社ジャパングリエイトグループについて

株式会社ジャパングリエイトグループは、当社を中心に人材ビジネス事業、食品流通事業、校正・調査・製造事業、コンシューマーサービス事業の4つの事業グループから構成されています。グループの幅広い事業領域とネットワークを活かし、顧客満足から顧客感動主義へ、価値のあるサービスの提供を目指して取り組んでいます。

【会社概要】

- 社名 : 株式会社ジャパングリエイトグループ
代表 : 代表取締役会長 五十嵐 庸公
本社 : 大阪府大阪市淀川区東三国 4-3-1 グロリア 240 3F
HP : <http://www.jc-grp.com>
設立 : 平成 23 年 9 月（創業：平成 13 年 8 月）
資本金 : 3,000 万円
グループ会社 : 株式会社ジャパングリエイト、株式会社バリューネットワーク、株式会社タンスイ、株式会社ランド・クワイティブ、株式会社東北地質センター、株式会社 Chappy、テトラプランニング株式会社、株式会社翻訳センターパイオニア、株式会社フードネクスト、株式会社アドレス・インフォメーション、株式会社日研、株式会社ジェイシーアジア

Japan Create Group

株式会社ジャパングリエイトグループ